

2型糖尿病患者における遂行機能検査が教育入院1年後の血糖を予測するかについての検討

1. 研究課題名

「2型糖尿病患者における遂行機能検査が教育入院1年後の血糖を予測するかについての検討」

2. 研究の対象

糖尿病教育入院の患者様を対象と致します。

3. 研究目的・方法

この研究は後述する各遂行機能検査テストを上記2型糖尿病対象患者に施行し、その成績と、退院1年後のHbA1cとの関連を検証します。また、遂行機能検査成績が低下すると、生活管理が悪くなり血糖が増悪することを証明するため、糖尿病知識テスト成績で調整した、遂行機能検査テスト成績とHbA1cの関連も検討します。

4. 研究方法

全員の患者様に入院時と退院時の糖尿病知識テスト、遂行機能検査、アンケートを実施する他、診療上で記録された血糖や血液検査の値、使用しているお薬のデータなどの情報を調査させていただきます。

5. 研究に用いる試料・情報の種類

患者インザル、教育入院1ヵ月以内に測定されたHbA1c、尿中Alb、血清Cr、退院後1年後のHbA1c、糖尿病QOL質問票、自己効力感測定テスト、老年期うつ評価尺度、遂行機能検査①：「行ったことがある場所の名前」を1分間列挙する、②：タッピングをしながら、「動物の名前」を1分間で列挙する、③：トレイルメイキングテストB、④：ストループテスト word-color 入院中の血糖コントロール指標改善、その他の臨床指標の関連解析、投薬内容、身体的所見測定日、血圧、脈拍、体重、採血測定日、血液検査、最終転帰、退院1年後の運動量、QOLスコアの点数、BMI、自己効力感、経口血糖降下薬数、インスリン使用の有無、30分以上の運動習慣の有無、生活習慣、遂行機能検査総標準化スコアと1年後のHbA1cとの相関、糖尿病知識テスト成績で調整した、遂行機能検査標準化スコアと1年後のHbA1cとの偏相関、各遂行機能検査成績と1年後の眼底所見、ACRとの相関、一部患者で研究者自身による1年後の対面診察が可能な場合に限り、1年後の糖尿病知識テストの点数および遂行機能検査成績等

6. 外部への試料・情報の提供

登録された患者様データは、容易に個人を特定できないよう当施設で対応表を作成し匿名化を行ないます。データおよび対応表は当施設の研究責任医師にて厳重に保管・管理されます。調査研究以外の目的には使用されることはありません。

7. 研究組織

研究機関名	責任者	職名	住所	連絡先
済生会横浜市南部病院糖尿病内分泌内科	南 太一	医長	〒234-0054 横浜市港南区港南台 3-2-10	045-832-1111
小田原市立病院糖尿病・内分泌内科	鈴木 陽一	医長	〒250-8558 小田原市久野46番地	0465-34-3175
みながわ内科クリニック	皆川 冬樹	院長	〒247-0006 横浜市栄区笠間2-14-1 セサミスポーツビル1F	045-897-4340
H.E.Cサイエンスクリニック	平尾 紘一 前田 一 調 進一郎	理事長 院長 糖尿病センター長	〒235-0045 横浜市磯子区洋光台 4-14-102	045-831-0031

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

この研究でのご自分の診療記録の調査や協力をお断りになっても、通常の診療でいかなる不利益を被ることは一切ございません。いつでもお断りいただけます。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者：済生会横浜市南部病院糖尿病内分泌内科 医員 南 太一

住所：〒234-0054 横浜市港南区港南台 3-2-10

電話番号：045-832-1111